

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン

【第6次岡谷市生涯学習推進計画】

～人生100年時代の生涯学習推進に向けて～

2020年度 — 2024年度



2020年3月
岡谷市教育委員会

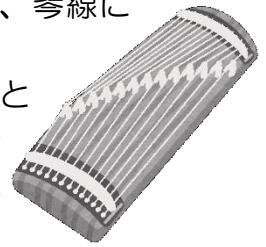
【はじめに】

「琴線」という言葉があります。

口にしただけで心が綺麗になる言葉の魅力を集めた「美人の日本語」の著者、山下景子氏は、琴線とは琴の弦、琴を「心の楽器」と表現し、「琴線に触れる」とは、心の奥底で共感し、感動するということ、そして、その弦が時々共鳴し合うと書いています。

「あなたの心の楽器は、いい音を奏でていますか。」と締めくくるこのエッセイを読んだとき、生涯を通した学びを推進するには、琴線に触れる瞬間を大事にしていきたいと感じたところです。

本物の芸術に触れたとき、素敵な本に出会ったとき、なるほどと思える講演を聞いたとき、仲間とともに活動するとき、上手な作品が仕上がったとき、声を合わせて歌うとき・・・私たちは様々な場面で、心の動きを感じることがあります。



まさに琴線に触れるような瞬間を、より多くの人に経験していただきたいとの思いで、この計画を策定しました。

自ら学び、心から紡ぎ出された糸が、仲間との交流や地域全体のつながりを経て、未来に伝えていくという「縦の糸」を目標に掲げ、組織の枠を超えた連携を「横の糸」に見立てて重点項目としました。縦横に広がる糸が、やがて強くてやさしい布となり、岡谷のまちをあたたく包み込むよう、計画名には「学びの紡ぎ」という表現を取り入れました。

近年、情報通信技術は、より進化しています。様々な情報が手に入りやすく、生活が便利になる一方で、顔を合わせたコミュニケーションの不足による弊害も心配されるところです。

さらに、異常気象や台風、地震など災害の不安も年々増してきており、少子化や高齢化の進展も相まって、地域住民同士の助け合いも大切になっています。

本計画に掲げた生涯学習の場と機会の提供が、こうした現代の悩みや不安から解放してくれるひとつのきっかけとなり、市民一人ひとりの「心の楽器」が、それぞれにいい音を奏でて、きれいに共鳴し合う一助となれば幸いです。

結びに、本計画を策定するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様をはじめ、ご協力をいただいた多くの皆様に心からお礼申し上げます。

令和2年3月

岡谷市教育委員会
教育長 岩本 博行



【目次】

第1章 計画の概要

第1節 計画策定の趣旨と背景	…	1
第2節 基本目標	…	2
第3節 重点項目	…	3
第4節 施策の体系	…	4
第5節 計画の位置づけ	…	6
第6節 計画の期間	…	7
第7節 計画の推進体制と評価	…	7

第2章 生涯学習の現状

第1節 国・県の動向	…	8
第2節 岡谷市の動向	…	10
第3節 第5次岡谷市生涯学習推進計画の検証	…	12

第3章 基本目標と施策展開

第1節 自ら学ぶ	…	16
施策1 生涯学習の充実		
施策2 読書活動の充実		
施策3 環境整備と設備の充実		
第2節 地域で活かす	…	18
施策1 地域との連携		
施策2 家庭との連携		
施策3 学校との連携		
第3節 未来へ紡ぐ	…	22
施策1 青少年活動の推進		
施策2 地域における健全な環境づくり		
施策3 文化施設の活用		
施策4 文化・芸術活動の推進と参加機会の充実		
施策5 文化財の保護・活用		

【資料編】

…27

- 1 生涯学習関連施設の利用状況
- 2 各種団体からの意見・要望（抜粋）
- 3 生涯学習推進に関連する他の計画（抜粋）

岡谷市生涯学習関連施設MAP

岡谷市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱

プラン策定までの経過

第1章 計画の概要

第1節 計画策定の趣旨と背景

「生涯学習」とは、自己の充実・啓発や生活の向上のため、自発的意思に基づいて学習を行うことを基本とし、必要に応じ、自己に適した手段・方法を自ら選んで、生涯を通じて行うものとされています。本計画では、生涯学習活動として、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など様々な場や機会において、自主的、自発的に行うことを基本とした学習活動すべてを対象として捉えています。

近年、わが国は長寿化の加速から「人生 100 年時代^{※1}」と言われております。情報通信技術の急速な普及による「超スマート社会^{※2}」の到来により、社会が大きな転換点を迎えるなか、新しい知識が政治、経済、文化をはじめ社会のあらゆる領域で重要と言えます。また、職業についてもオートメーション化が進むなかで専門的な知識、情報、技術の習得が不可欠であり、生涯学習の需要は一層高まっていると言えます。

こうした状況において、生涯を通じて自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が新たな未来の担い手を育むこととなる、生涯学習社会の実現が求められています。

本計画は、これまでの本市の取り組みとこれら社会環境の変化等を踏まえ、今後の本市の生涯学習施策を総合的、計画的に推進するための新たな指針として策定するものです。

なお、本計画は、広範な分野にわたっており、岡谷市教育振興基本計画^{※3}として位置づけた「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」、「はつらつ岡谷スポーツプラン」などと内容が重複する部分があるため、当該部分については内容を省略してあります。

※1：海外の研究（リンダ・グラットン著「ライフシフト」で引用されている研究）を元にすれば、2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50%もあると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。（首相官邸ホームページより）

※2：必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な制約を乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会。

実現のための取組→Society 5.0（P8※1）

※3：教育振興に向けた施策を総合的、計画的に進めるための基本計画。改正教育基本法で、政府が作り国会に報告することが定められた。地方自治体も国の計画を参考に、地域の実情に応じた基本計画を作ることが努力目標となっている。

第2節 基本目標

生涯学習活動は、これからの「人生100年時代」を心豊かに迎えるために大変重要であることから、将来へ安定した生涯学習活動の基盤を築くため、3つのキーワードを掲げ、これらを本市の生涯学習推進の基本目標とし、施策を展開していきます。



第3節 重点項目

「組織の垣根を越えて連携し、市民の学びを応援する」

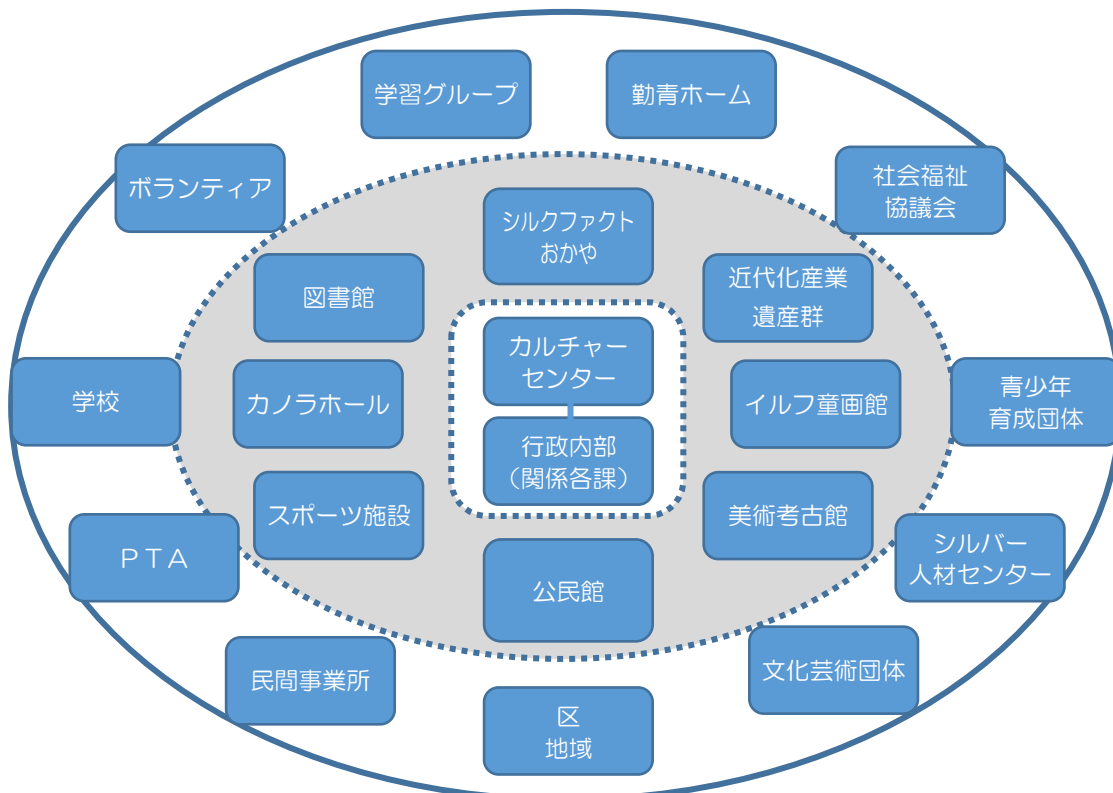
（重点項目設定にあたり）

令和元（2019）年度から生涯学習課がカルチャーセンターへ移転し、まずは生涯学習推進に向けた組織の一元化を行いました。

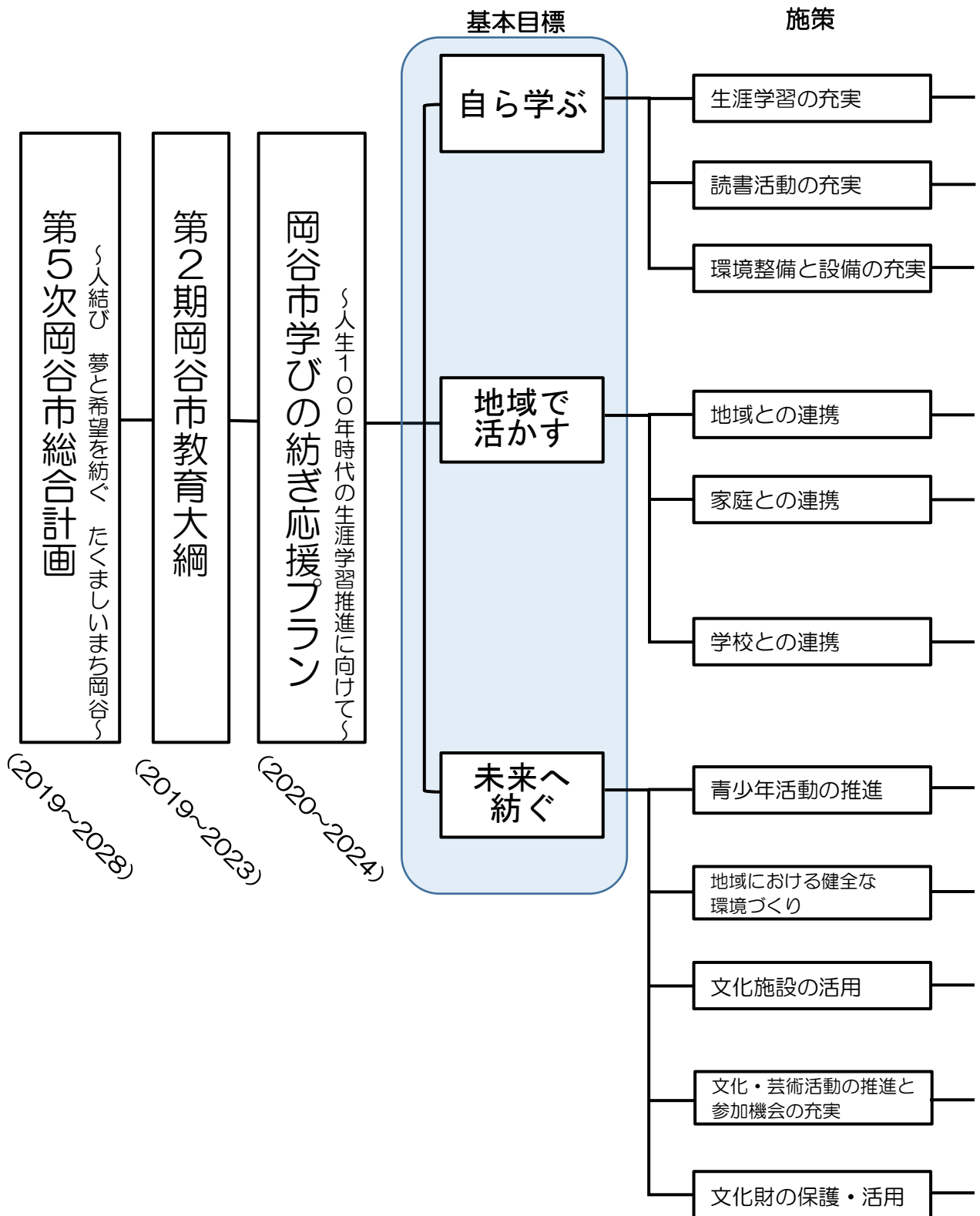
自ら学び、心も体も健やかに保ち、仲間づくりをしながら、学びを通じた知識や技能、人と人との関係をこれからのまちづくりに活かしていくために、教育、福祉、子育て支援、文化、市民団体、ボランティアなど、行政内外の垣根を越えた、これまで以上の連携が必要と考えています。

今後、新規事業や継続事業に取り組むうえで、常に「連携」を意識しながら、幅広い視野で取り組んでいきたいという思いで、この重点項目を設定しました。

【連携イメージ図】

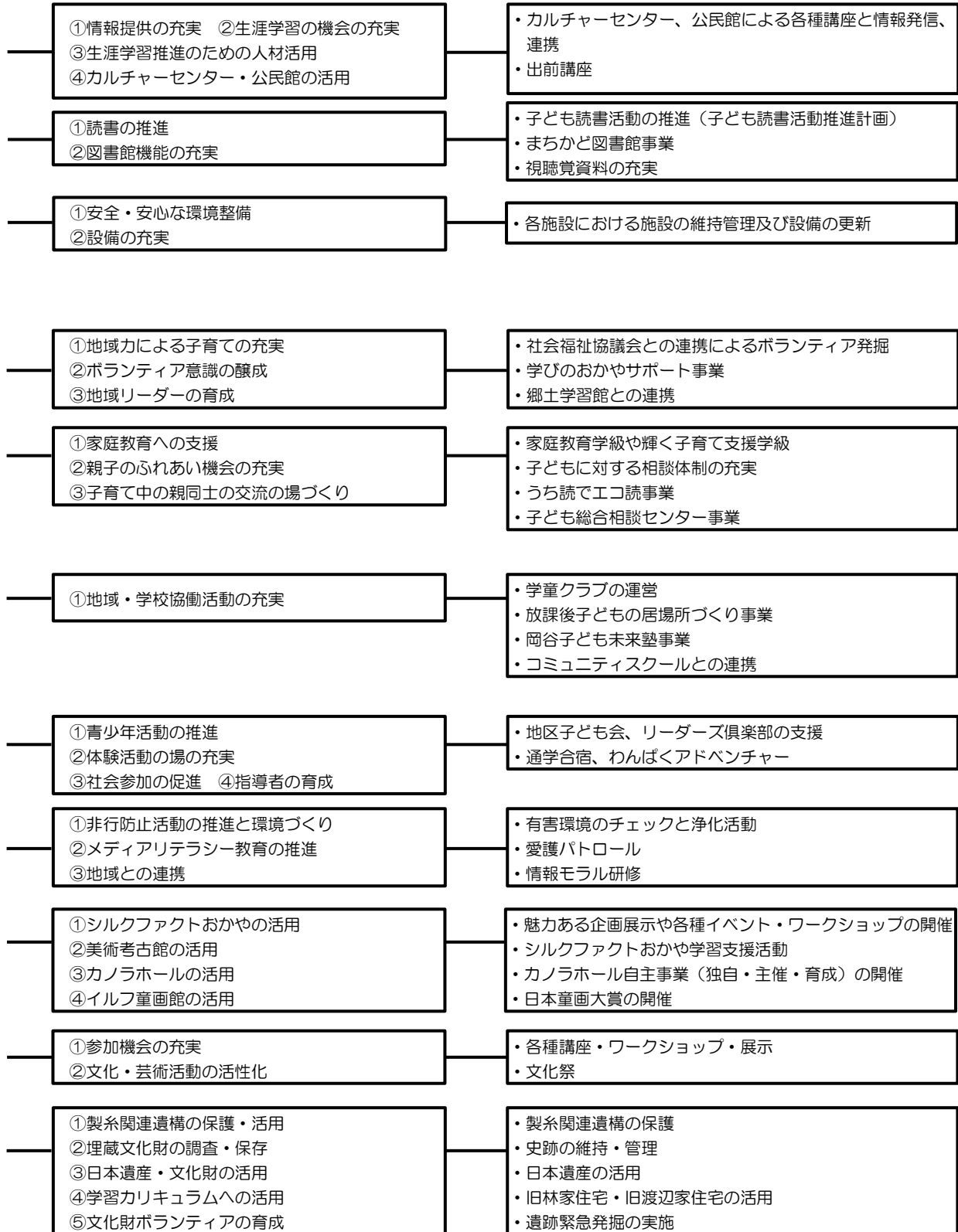


第4節 施策の体系



細施策

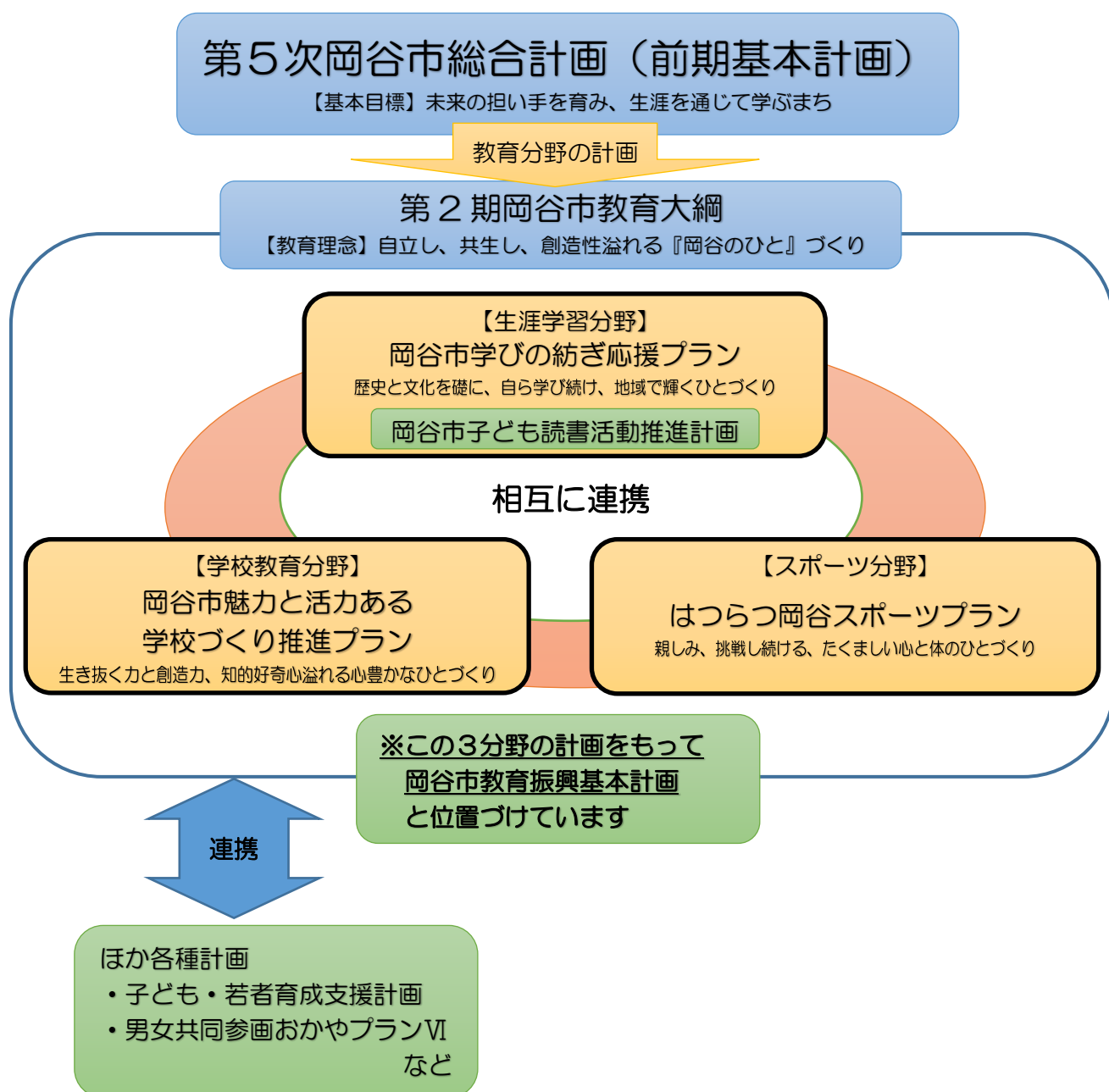
主な事業



第5節 計画の位置づけ

本計画は、第5次岡谷市総合計画前期基本計画と第2期岡谷市教育大綱の個別計画として位置づけます。

また、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」及び「はつらつ岡谷スポーツプラン」とともに「岡谷市教育振興基本計画」とし、その他関連する各種計画との整合を図りました。



第6節 計画の期間

令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間を計画期間とします。

第7節 計画の推進体制と評価

■推進体制

関係部局との横断的な連携により、実効性のある取り組みを展開します。また、地域や関係団体がそれぞれの役割と責任が果たせるよう互いに連携協力を図ります。

■評価・検証

事務事業評価制度の活用や社会教育委員の会議での提言を踏まえ、取り組みの成果や課題を評価・検証し、次年度の施策展開に反映していきます。

また、第5次岡谷市総合計画前期基本計画における成果指標（KPI）により数値目標の達成度を把握します。

■計画の見直し

計画の推進にあたっては、岡谷市の財政状況や生涯学習をめぐる情勢の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

第2章 生涯学習の現状

第1節 国・県の動向

(1) 国の計画と動向

第3期教育振興基本計画（平成30（2018）年度～令和4（2022）年度）

基本方針『生涯学び活躍できる環境を整える』

- ・人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- ・人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進
- ・職業に必要な知識やスキルを、生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進
- ・障がい者の生涯学習の推進

国では、第3期教育振興基本計画において、令和12（2030）年以降の社会を展望した教育政策の重点事項として、第2期計画の「自立」「協働」「創造」の方向性を継承しながらも、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成や、一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現を目指すべき姿として掲げており、「人生100年時代」「超スマート社会（Society 5.0^{※1}）」を見据えた生涯学習の推進を教育政策の目標としています。

また、社会人の学びの推進として、これからの時代において、学校を卒業し、社会人になった後も、大学等でさらに学びを重ね、新たな知識や技能、教養を身につけることが必要であるとともに、出産や子育てなど女性のライフステージや、若者の活躍に対応した支援が必要であるとの観点から、社会人の学び直し（リカレント教育^{※2}）の推進を求めています。

そのため、「何歳になっても学び直しができるリカレント教育」を主要テーマのひとつとして、「人生100年時代構想会議」を設置するなど、リカレント教育の拡充に向けた取り組みがなされています。

※1：目指すべき未来社会の姿として、第5期科学技術基本計画にて提唱。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会として、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

※2：「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念。社会人になってからも、学校などの教育機関に戻り、学習し、また社会へ出ていくことを生涯続けることができる教育システム、学び直し。

(2) 県の計画と動向

長野県生涯学習推進基本構想（平成3（1991）年～）

- ・21世紀初頭に向けた県の生涯学習推進の指針

基本目標『うるおいと生きがいを求めて』

長野県総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）

（平成30（2018）年度～令和4（2022）年度）

基本目標『学びと自治の力で拓く新時代』

- ・教育における重点政策－学びの県づくり
 - ①生きる力と創造性を育む教育の推進
 - ②地域とともに取り組む楽しい学校づくり
 - ③高等教育の振興による知の拠点づくり
 - ④生涯を通じて学べる環境の整備

長野県教育振興基本計画（長野県教育大綱として位置づけ）

（平成30（2018）年度～令和4（2022）年度）

- ・長野県総合5か年計画に対応する教育分野の個別計画として策定

基本理念「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり

基本目標 ①生きる力と創造性を育む信州ならではの「学び」を
実践します。
②社会全体で、すべての子どもたちが、良質で多様な
学びの機会を享受できるようにします。
③誰もが、生涯学び合い、学び続け、自らの人生と
自分たちの社会を創造できる環境をつくります。

- 重点施策 ①信州に根ざし世界に通じる人材の育成
②すべての子どもたちが良質で多様な学びを享受
③「共に学び合い、共に価値を創る」学びの環境づくり

長野県では、平成30（2018）年度よりスタートした「長野県総合5か年計画～しあわせ信州創造プラン2.0～」をもとに、「第3次教育振興基本計画」を策定し、「『学び』の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり」を基本理念に、時代の変化に応じた知識とスキルの獲得や多様な価値観をもつ人々が、互いに影響し合いながらともに新しい社会的価値を創造していく学びを推進するため、「いつでも、誰でも、どこでも、何度でも」学べる、学びの環境の実現を掲げています。

第2節 岡谷市の動向

(1) これまでの計画の経緯

- 平成2(1990)年度 岡谷市生涯学習推進基本構想 策定
「生涯学習の推進を総合的施策として全庁的に取り組むとともに、市民一体となって進めるため策定」

- 平成3(1991)年度 岡谷市生涯学習推進基本計画 策定
(計画期間 平成4(1992)～平成11(1999)年度)
「生涯学習による人づくり、まちづくり」

- 生涯学習推進体制の確立
- 学習機会の整備・充実
- 学習の場の整備・充実
- 指導者の充実
- 学習情報提供・学習相談システムの整備

- 平成11(1999)年度 第2次岡谷市生涯学習推進計画 策定
(計画期間 平成12(2000)～平成16(2004)年度)
「生涯学習のまちづくりをめざして」

- 学習機能の充実
- 多様な学習活動の推進
- 生涯学習推進体制の充実

- 平成16(2004)年度 第3次岡谷市生涯学習推進計画 策定
(計画期間 平成17(2005)～平成21(2009)年度)
「市民一人ひとりが心豊かに生きるために」

- 学ぶ場の充実を
- 活力ある日々を
- 学びの手助けを

- 平成21(2009)年度 第4次岡谷市生涯学習推進計画 策定
(計画期間 平成22(2010)～平成26(2014)年度)
「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」

- 生涯学習の推進
- 文化・スポーツの振興
- 国際理解の醸成

- 平成26(2014)年度 第5次岡谷市生涯学習推進計画 策定
(計画期間 平成27(2015)～令和元(2019)年度)
「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」

- 生涯学習の推進
- 文化・スポーツの振興
- 国際理解の醸成

(2) 岡谷市の動向

今日、市民と行政との協働による活力あるまちづくりを推進するためには、生涯学習が重要な位置を占めています。「岡谷市市民総参加のまちづくり基本条例」の中でも、市民総参加のまちづくりを推進するために、生涯学習の機会を活用するよう努めることとしています。

このことから生涯学習は、教育委員会の枠を越え、各部課等で幅広く推進していくものであり、市民生活に極めて深い関係にあります。

本市は、平成 2（1990）年度に「豊かな自然と調和した国際文化産業都市」をまちづくりの基調として「岡谷市生涯学習推進基本構想」を策定し、平成 3（1991）年度には「岡谷市生涯学習推進基本計画」を策定、以後多様化する市民の要望に基づく学習や、市民総参加による新たな地域社会の創造を目指し、学習の支援を図る計画として位置づけてきました。

平成 27（2015）年度の「第 5 次岡谷市生涯学習推進計画」では、学習機会の提供とともに学習の成果が社会に還元され、まちづくりや輝く子どもの育成に活かされていくことを強く求め生涯学習の推進を図ってきました。

令和元（2019）年度に、本プラン策定にあたり、第 5 次岡谷市総合計画や第 2 期岡谷市教育大綱との整合を図りつつ、「岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン」や「はつらつ岡谷スポーツプラン」とともに教育大綱の個別計画のひとつとして、これから目指す方向性を検討してきました。

地域と行政が一体となって生涯学習活動を進めるため、生涯学習課の機能をカルチャーセンターへ移転・統合（平成 31（2019）年 4 月～）し、今後、公民館とより連携を深めるなかで、各文化施設とも連携を図りながら、「歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり」に向けて生涯学習を推進します。

第3節 第5次岡谷市生涯学習推進計画の検証

第5次岡谷市生涯学習推進計画を、重点項目ごとに検証しました。

(1) 「地域に学び貢献する」生涯学習

カルチャーセンターや公民館を中心に各種講座を実施し、自主的な学習活動を推進する学習グループの育成に努めてきました。また、広報おかや、新聞、テレビやインターネットなど様々な広報媒体を活用し、学習の機会提供について情報発信にも努め、市民の学習意欲の啓発に取り組んできました。

しかし、学習グループ参加者や講師の高齢化、また、新規会員の減少などの要因から、グループ数も減少し、平成 29（2017）年度には 200 グループを下回りました。

今後も引き続き、市民の生涯学習を支援するために、学習グループの講師等に地域の人材が活躍できるように働きかけるとともに、ボランティアなどの地域活動が社会貢献活動に結びついていくような支援も必要となっています。

【今後の方向性】

- カルチャーセンター、公民館の活用
- 図書館の活用
- 生涯学習機会の提供
- 学習グループの支援・育成
- ボランティアなど地域人材のさらなる活用と充実



図書館『子ども読書祭り』での読み聞かせ



カルチャーセンター 講座の様子

(2) 「ふるさとを誇りに思う」生涯学習

本市の文化、歴史、産業や先人の偉業などを通して、ふるさとを誇りに思う心が醸成されるためには、関連する講座や学習機会を提供するとともに、後世に伝えるべき文化財の調査や保存に努めながら、それらを公開することで生涯学習やまちづくりへの一助となるよう努めてきました。

特に平成30（2018）年度に開館5周年を迎えた美術考古館は、本市出身画家の美術展示をはじめ、考古展示や館長によるワークショップなどの芸術・文化の推進のほか、若手作家にスポットを当てた公募展の開催など、未来の芸術家の育成・支援にも力を入れたことから、多彩で新しい取り組みが、来館者数の増加につながっています。

また、製糸工場を併設するわが国唯一の博物館であるシルクファクトおかやでは、「シルク岡谷」の歴史・文化を全国に発信するとともに、魅力ある企画展の開催や特色ある学習活動を推進し、新たなシルク文化を生み出す岡谷ブランドの発信拠点として活動しています。

カノラホールでは、舞台芸術文化の拠点として様々な催しを開催し、優れた舞台芸術の鑑賞や市民の文化創造の場、また、次世代を担う人材育成の場として、地域文化の中心的な役割を果たしています。

イルフ童画館は、武井武雄生誕120年記念事業を契機に全国的な知名度向上が図られており、年間3万人を超える入館者となっています。今後も芸術文化の振興、次代の育成支援に努めていくことが必要です。

また、縄文時代の文化財は、平成30（2018）年度に日本遺産^{※1}に認定され、小中学校での授業や、公民館での体験学習や講座など、ふるさとの文化の継承に努めました。

これからも関係課等と連携した情報発信と、未来へ紡ぐ文化の継承に努め、地域の活性化を図っていくことが必要です。

※1：地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が「日本遺産」として認定するもの。魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取り組みを支援。

【今後の方向性】

- 文化財の保護と活用
- 文化・芸術の振興と文化施設の活用
- 小中学校における学習の充実

(3)「未来を担う青少年を育む」生涯学習

岡谷市子ども会育成連絡協議会をはじめ、岡谷市地域子(己)育てサポーター連絡協議会、岡谷市少年愛護協議会など、青少年の健全育成にかかわる団体との協働で、「地域の子どもは地域で育てる」土壌づくりを進め、青少年活動の支援と非行防止活動に努めてきました。

放課後子ども居場所づくり事業は、地域住民の運営により各小学校で実施され、学校と地域との連携による安全・安心な居場所となりましたが、運営スタッフの高齢化により、後継者の育成が課題となっています。

中学校では「岡谷子ども未来塾」として、地域の方を講師としながら放課後の学習支援を平成30(2018)年度から新たに開始しました。

また、岡谷図書館では読書活動を通して子どもの健やかな成長を支えるため、ボランティア団体や学校図書館、保育園、関係課等と連携した子ども読書活動推進体制を進めており、児童図書の数も県下でトップクラスにあります。引き続き子どもの読書活動推進を図るため、平成30(2018)年度には「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

少子高齢化や急速な情報通信機器の普及など、青少年を取り巻く環境は依然として変化し続けており、関係機関と連携した積極的な支援が求められています。

【今後の方向性】

- 子育て土壌づくりの推進
- 青少年活動の推進
- 非行防止活動の推進
- 読書活動の推進
- 人材確保の推進と地域ボランティアなどの充実



青少年育成事業『わんぱくアドベンチャー』の様子



放課後子どもの居場所づくり事業の風景

(4) 「親力・家庭力を向上する」生涯学習

カルチャーセンターと公民館では、乳幼児を持つ保護者を対象にした「輝く子育て支援学級」や「家庭教育学級」などを開催して、子育ての不安解消や情報交換、仲間づくりに役立つよう支援をしています。また、各地区において「乳幼児親子ふれあいの集い」や、「子ども会育成会」の活動などにより輝く子どもの育成に努めています。

地域、家庭、学校、行政が連携して、地域全体で子どもを見守る体制を維持しつつ、子どもの育ちに対して保護者が正しい理解や考え方を持てるよう、福祉部門や子育て支援部門など関係課との連携を進めていきます。

【今後の方向性】

- 地域における環境づくりの推進
- 学校・地域との連携
- 子育て支援、福祉関係部門との連携



カルチャーセンター『輝く子育て支援学級』の様子

子ども会育成会 リーダーズ倶楽部による
クリスマス会の様子

第3章 基本目標と施策展開

第1節 自ら学ぶ

目指す5年後の姿

- カルチャーセンター、公民館、美術考古館、蚕糸博物館で講座が充実し、若者から高齢者まで幅広く学習活動の場に参加しています
- 生涯学習情報の提供がより充実します
- 地域の人材が生き生きと、生涯学習活動を進めています
- 読書習慣の醸成と定着を図りつつ、幅広いニーズに対応した図書館活動が充実します

施策1 生涯学習の充実

細施策1 情報提供の充実

より多くの市民が生涯学習に関心を持てるよう、生涯学習の魅力、各種講座・学級の開催情報・学習グループの活動内容などを各施設窓口への掲示をするほか、広報紙やホームページ、シルキーチャンネル、インターネットなど様々な媒体を活用しながら積極的にPRします。また、SNS^{※1}などについても積極的に活用し、より効果的な情報発信に努めます。

細施策2 生涯学習の機会の充実

ライフステージ（乳幼児から高齢者まで）に応じた学習機会の提供をはじめ、ニーズや時代に対応した講座の充実に努めます。

細施策3 生涯学習推進のための人材活用

地域における卓越した人材を生涯学習活用の場において、講師等で参画してもらい、自らの学習成果を地域に還元してもらうため、人材の発掘とボランティア活動などの生涯学習活動を支援します。

※1：ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）、ひとつのつながりを、インターネットを通じて構築するサービス。フェイスブックやツイッター、インスタグラムなど。

細施策4 カルチャーセンター・公民館の活用

生涯学習活動の拠点として、活用を図るとともに、公民館・文化施設と連携を図りながら、生涯学習のさらなる推進に努めます。

施策2 読書活動の充実

細施策1 読書の推進

「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書習慣の定着に向けた取り組みを進めます。

また、読書関係ボランティア団体等と連携し、読み聞かせや講座イベントなどを開催して、読書に親しめる環境づくりに努めます。

細施策2 図書館機能の充実

県下トップクラスである児童図書割合を維持するとともに、郷土の歴史や文化など、市民の学習ニーズに対応した図書の充実に努め、子どもの読書活動推進と、市民にとって身近な情報センターとして図書館機能の充実に努めます。

また、諏訪広域図書館ネットワークの活用促進や、学校、保育園、幼稚園、各公民館との連携により、利用しやすい読書環境づくりに努めます。

施策3 環境整備と設備の充実

細施策1 安全・安心な環境整備

生涯学習施設や文化施設は、生涯学習活動の拠点として重要であるとともに、災害時の避難場所としても安全に活用できるよう、安全・安心な環境整備に努めます。

細施策2 設備の充実

快適で、より使いやすい施設となるよう、適時備品や設備の更新に努めます。



岡谷図書館移転40周年を記念して
児童図書コーナーに特設された誕生日関連絵本



働く女性に関する本を集めた
岡谷図書館の時事コーナー

第2節 地域で活かす

目指す5年後の姿

- 自らの学びを地域で活かし、地域の学びや活動に参加することで、地域力が高まり、地域・家庭・学校の連携が充実します
- 地域に親同士の交流の場が増え、子育てや家庭教育に関する情報や機会がより充実します
- 地域・家庭・学校の連携が深まることで、若い世代をはじめ、全市民に助け合うボランティア活動が広がります

施策1 地域との連携

細施策1 地域力による子育ての充実

異なる年代や多様な人々との交流や支援により、地域全体で子育てを見守ったり、支えあい、学びや活動に参加することで、地域住民が自立し協働することにより、地域課題を解決したり、地域の価値を創造したりする力である「地域力」を高めることにつながります。「地域の子は、地域で育てる」を原点に、地域力による子育ての充実に努めます。

細施策2 ボランティア意識の醸成

ボランティア活動は、自らを高め心豊かにする活動であり、地域においてともに助け合って生きる社会を支える重要な位置づけでもあります。学習活動の成果を個人だけにとどめず、広く社会に還元する活動が広がるために、社会貢献活動を推進するための講座の開催や意識啓発、岡谷市社会福祉協議会との連携により、様々な世代で、地域にボランティア貢献する意識の醸成を図ります。

細施策3 地域リーダーの育成

それぞれの地域における、社会環境の変化による地域での連帯感の希薄化など、生活に密着した特有の課題への取り組みを進めます。

また、生涯学習の成果を地域に還元し地域づくりに活かすため、地域で生涯学習を推進するリーダーの育成に努めます。さらに、郷土学習館など「ふるさとの学び」を地域で進めている団体等の活動を支援します。



ボランティア参画のため、岡谷市社会福祉協議会と連携した「地域活動いとぐち教室」



郷土出身の優れた先人の生き方を学ぶことができる郷土学習館

施策2 家庭との連携

細施策1 家庭教育への支援

子どもが人間性豊かに育つことができるよう、子どもの成長過程に応じた子育てや家庭教育に関する学習機会の充実と情報提供の推進を図ります。

細施策2 親子のふれあい機会の充実

親子が楽しみながら学び、ふれあえる講座の開催や、親子での読書会などの読書活動、遊び、スポーツなどのふれあいを通して親子の絆を深め、また、人として思いやる心を育てるよう努めます。

細施策3 子育て中の親同士の交流の場づくり

核家族化により家庭内で子育てを継承することがほとんどない現代の親世代が、子育ての知識を得ることができるよう、家庭力を高めるため地域の協働を得ながら子育てを支援する講座等を開催します。

また、子育て中の親が、ひとりで子どもの発達について悩んだり、孤独な子育てで過度のストレスを溜めたりせずに、子育てを楽しめるように、地域で親子が交流できる場をつくります。



『輝く子育て支援学級』により、子育ての悩みを仲間と共有しながら学ぶ

施策3 学校との連携

細施策1 地域・学校協働活動の充実

各校におけるコミュニティスクール、放課後子どもの居場所づくり事業、岡谷子ども未来塾事業、学童クラブ運営事業を中心に、学校と地域が連携・協働し、学校づくりに地域の持つ力を活かします。



地域のボランティアが学習を支援する
『岡谷子ども未来塾』



『学童クラブ』でのボランティアによる読み聞かせの様子

第3節 未来へ紡ぐ

目指す5年後の姿

- 地域の活動や体験学習を通して、人間性や社会性が育まれ、未来のリーダーが育ってきています
- 「超スマート社会」の到来による、インターネットや SNS などの新たな課題から青少年を社会全体で守る機運が向上します
- シルクファクトおかや、美術考古館、カノラホール、イルフ童画館でのイベントを通し、文化や芸術活動に参加する機会が充実します
- 近代化産業遺産群をはじめ、これまで収集、保管をしてきた民俗資料や考古資料を公開し、また、活用することにより、ふるさとを愛し地域力を育む学習活動が充実します

施策1 青少年活動の推進

細施策1 青少年活動の推進

地域の子ども会などの青少年団体やグループによる自主的な活動の支援・育成を推進します。

細施策2 体験活動の場の充実

カルチャーセンターを青少年活動の拠点として活用しながら、野外活動、自然体験などの体験活動を推進します。

細施策3 社会参加の促進

人間性や社会性を育むため、地域の行事やボランティア活動など地域活動への青少年の自主的、自発的な参加を促進します。

細施策4 指導者の育成

青少年の健全育成を図るため、地域活動における指導者としてふさわしい資質の向上を支援することにより、その養成を図ります。特に、リーダーズ倶楽部の活動支援では、異年齢の子ども同士で共に学ぶ実践活動により、学びの循環とリーダーの育成を促進します。

施策2 地域における健全な環境づくり

細施策1 非行防止活動の推進と環境づくり

家庭、学校教育現場、地域社会、育成団体、関係機関が一体となり、児童、生徒の校外生活における問題行動の早期発見と非行の未然防止に努め、育成啓発活動を推進します。

細施策2 メディアリテラシー^{※1}教育の推進

「超スマート社会」の到来による、SNS などを利用した犯罪やインターネットの有害情報から青少年を守るため、情報モラルや正しいインターネットの活用を推進します。

細施策3 地域との連携

地域で活動する子育て支援や青少年育成に関わる団体などとの情報の共有や研修会の場作りに努め、社会全体で青少年を支援していく機運の醸成に努めます。

※1：インターネットや新聞、テレビなどが発信する情報を見きわめ、理解・活用する能力。



東伊豆町との夏休み子ども交流事業



少年愛護委員による非行防止のための
深夜パトロール

施策3 文化施設の活用

細施策1 シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）の活用

養蚕、製糸業により育まれた文化、歴史、そして、先人の偉業を全国に発信し、後世に伝えるため、製糸機械類を中心とした常設展示や、現役の製糸工場を見ることができる動態展示など、施設の特徴を活かした展示の充実に努めます。また、魅力ある企画展、ワークショップ、体験講座の開催や特色ある学習活動を通じて、新たなシルク文化を発信し、シルクのまちづくりを推進します。

細施策2 美術考古館の活用

地域の特性を活かした芸術作品や文化財資料の収集や保存、調査研究により質の高い様々な展覧会を開催するとともに、魅力あるイベントを実施し、子どもから大人まで幅広く、文化・芸術に接する機会の充実に努めます。また、中心市街地の立地を活かし、まちの賑わいの創出や文化を核としたまちづくりを推進します。

細施策3 カノラホール（岡谷市文化会館）の活用

舞台芸術文化の拠点として、オペラ、バレエ、オーケストラなど優れた舞台芸術作品を鑑賞する機会の充実に努めるほか、特色ある芸術作品の企画や制作などを推進します。その他、カノラ少年少女合唱団など次代を担う人材、リーダーの育成や市民参加型事業の推進により、市民の芸術文化活動の活性化を図ります。

細施策4 イルフ童画館（日本童画美術館）の活用

所蔵する武井武雄作品を中心に童画作品の充実に努め、企画展や特色あるワークショップを開催するとともに、武井武雄が生んだ童画文化の研究をより深め活用を図ります。また、次代を担う若手童画家の発掘と支援、育成のため、日本童画大賞を開催するなど、童画のまちづくりを推進します。



シルクファクトおかやでの糸取りの様子



カノラホール開館30周年記念オリジナルミュージカル『ONLY ONE』



武井武雄生誕120年記念ロゴ

施策4 文化・芸術活動の推進と参加機会の充実

細施策1 参加機会の充実

施設の特性を活かしながら各施設が連携し、各種講座の開設、学習情報の提供を進めるなど、市民が気軽に文化活動に参加できる機会の充実に努めます。

また、時代のニーズに合わせ講座の内容を見直し、それぞれの年齢層がいつでも参加できる魅力ある講座の開催に努めます。

細施策2 文化・芸術活動の活性化

個人や学習グループの作品の展示や文化祭での披露など、日頃の学びの成果を発表する場として各公共施設を提供し、文化・芸術活動の活性化を図ります。



カルチャーセンターでの作品展示



カノラホールでの演劇祭

施策5 文化財の保護・活用

細施策1 製糸関連遺構の保護・活用

本市発展の基礎となり、日本の近代化を導いた製糸業に関する建物について、生涯学習やまちづくりに資するよう保護に努め、市民がふるさとの歴史や産業を学ぶ資料として活用します。

細施策2 埋蔵文化財の調査・保存

公共事業や住宅建設などの開発に伴う遺跡調査を実施し、遺跡の記録や出土品の保存に努めます。

細施策3 日本遺産・文化財の活用

日本遺産に認定された縄文時代の文化について、積極的な情報発信と、文化財を活用した地域活性化に向けた取り組みを関係各課や他市町村と連携して推進します。

細施策4 学習カリキュラムへの活用

小中学生を対象として、これまで収集、保管をしてきた民俗資料や考古資料などの公開、発掘体験学習等を行い、郷土の地域資源を学び親しむことにより、ふるさを愛し地域力を育むといった学習活動の充実に努めます。

細施策5 文化財ボランティアの育成

郷土の歴史や文化財の調査、収集、保存に努めます。また、市民が学習活動により得た知識が、ボランティア活動や地域活動などに反映されるよう文化財ボランティアの育成を図ります。



シルクファクトおかや所蔵『フランス式繰糸機』



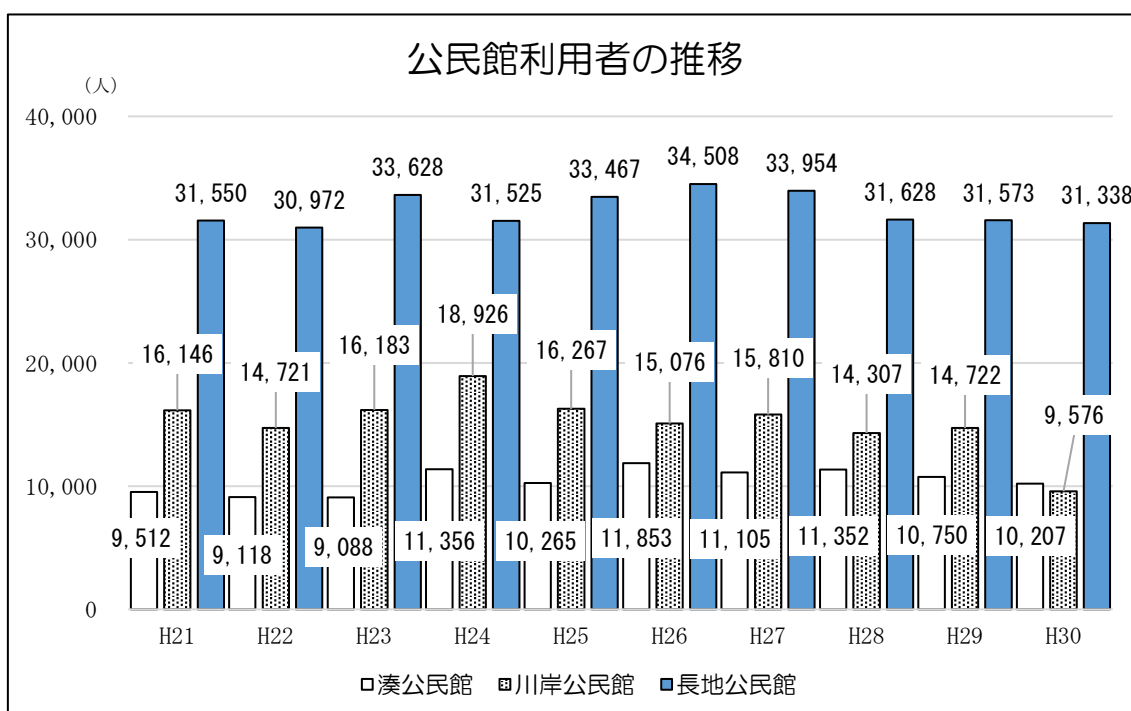
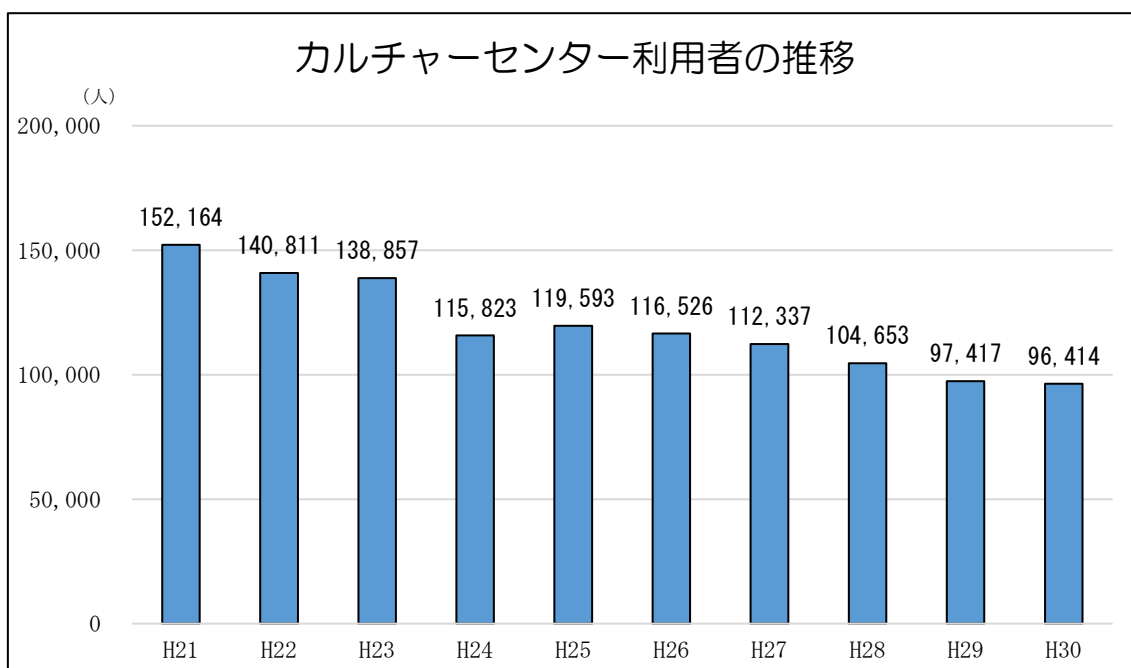
岡谷美術考古館所蔵『顔面把手付深鉢形土器』

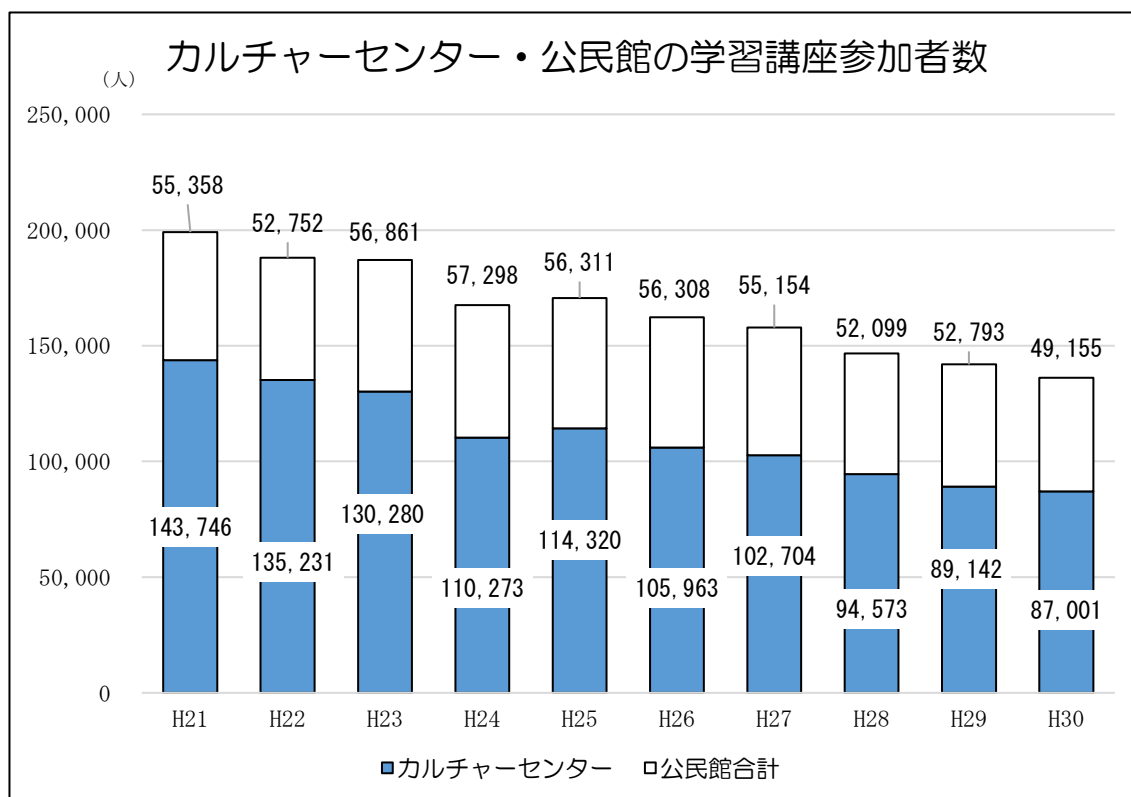
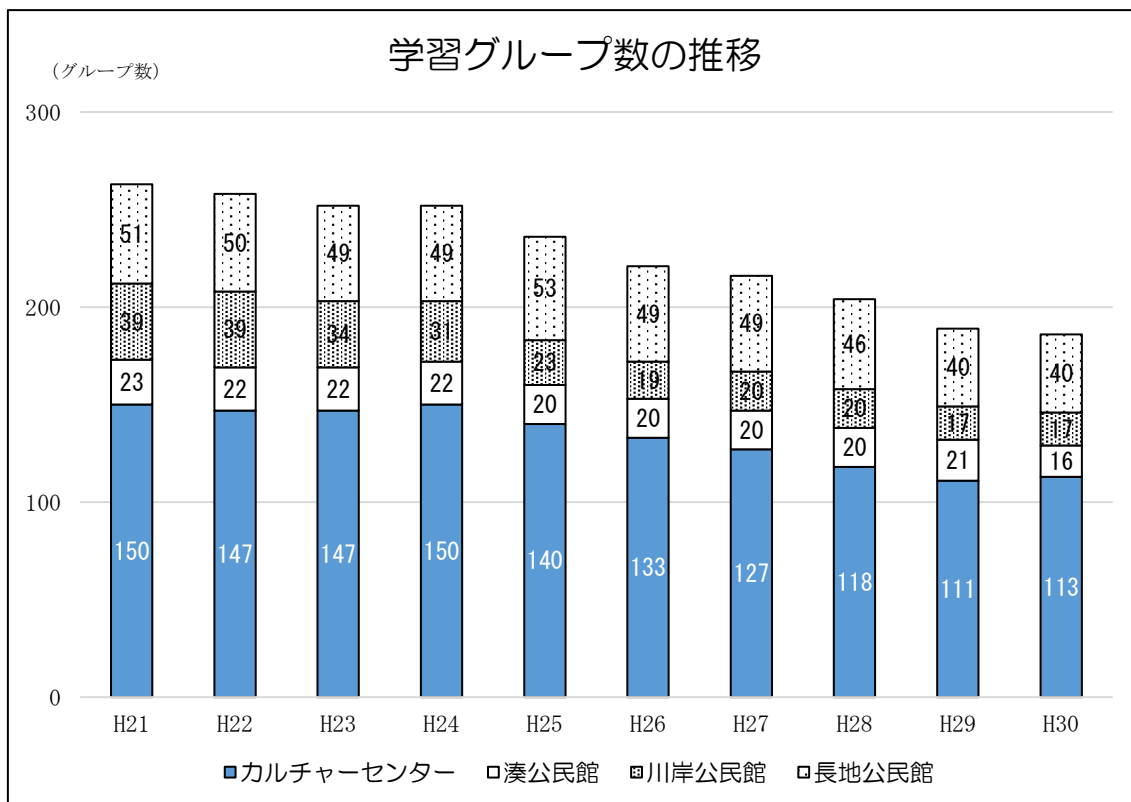
【資料編】

1 生涯学習関連施設の利用状況

(1) カルチャーセンター・公民館

カルチャーセンター、公民館ともに利用人員は、減少傾向にあります。学習グループの講師や参加者の高齢化により、グループ数の減少や活動の縮小が進んでいます。

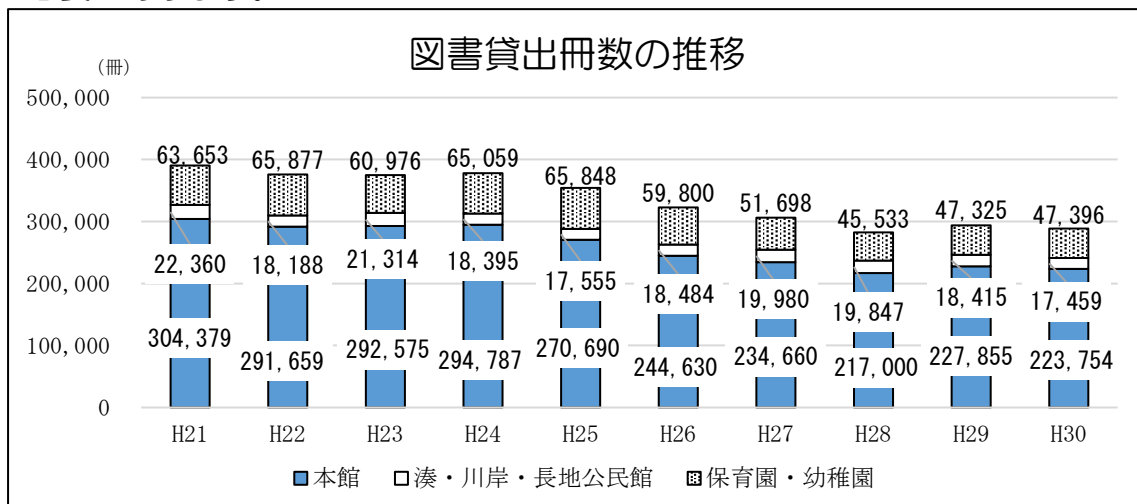




※5 総KPI 学習講座の参加者数 令和5(2023)年度 145,000人

(2) 岡谷図書館

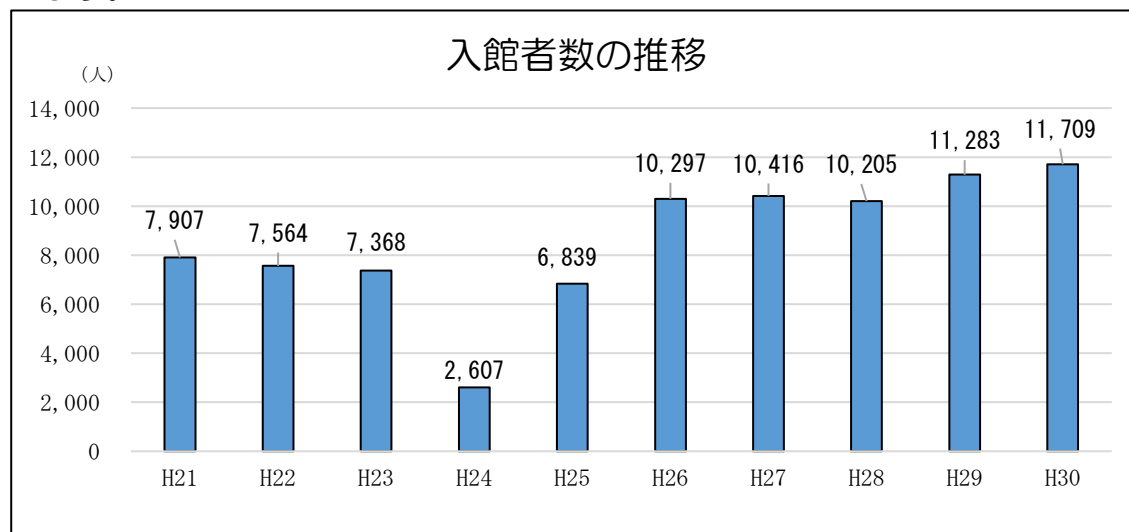
インターネット、スマートフォン、電子書籍等のIT機器の普及により、本離れ（活字離れ）の傾向にあります。今後、図書資料を活用した「読書体験」により読者を増やすと共に、多様な利用者ニーズに対応した視聴覚資料の刷新、配架エリアの工夫、情報通信環境や空調管理を徹底し利用の快適性を図り、身近な情報センターとしての図書館活用にシフトしていく必要があります。



※5 総KPI 図書の貸し出し冊数 令和5（2023）年度 300,000冊

(3) 岡谷美術考古館

平成25年11月のリニューアルオープン以来、入館者数は堅調に推移しています。イベントやワークショップ、数々の特別企画展の開催などの効果が現れてきています。また、学習等の発表の場としても使用されています。

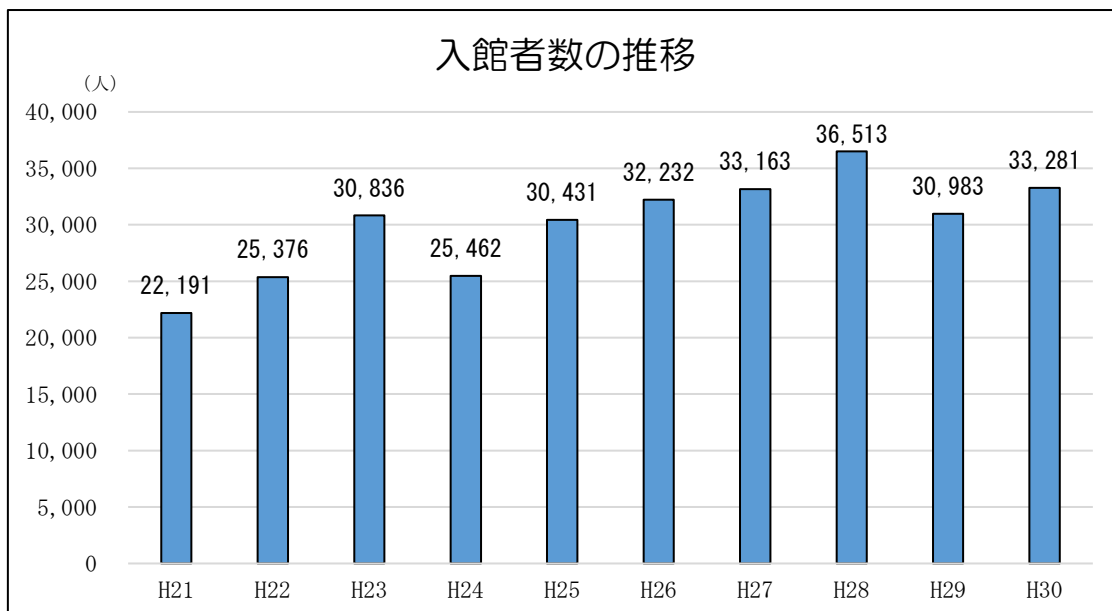


※H24.5.31～H25.11.2 移転準備により休館

※5 総KPI 施設入場者数 令和5（2023）年度 12,000人

(4) イルフ童画館（日本童画美術館）

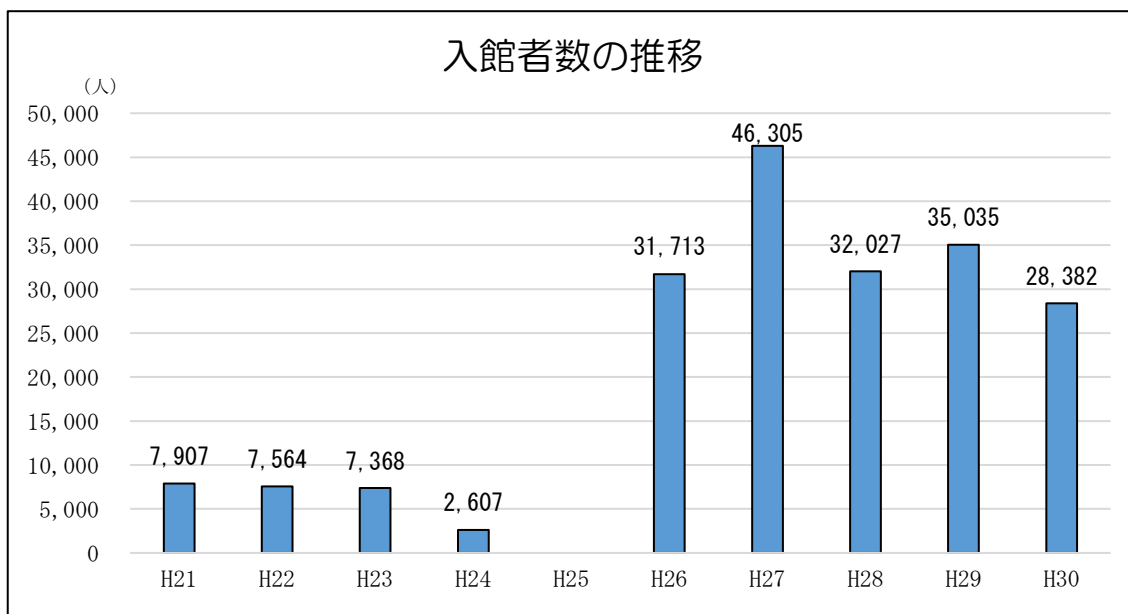
入館数の増減はあるものの、全国巡回展を契機に武井武雄や作品の人気、知名度も高まり、近年は入館者3万人台を維持しています。



※5 総KPI 施設入場者数 令和5（2023）年度 35,000人

(5) シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）

平成26年8月にリニューアルオープンし、平成27年度の入館者数は、以前に比べ概ね5倍以上に伸びました。近年は大口団体のツアー等の状況により3万人前後を推移しています。

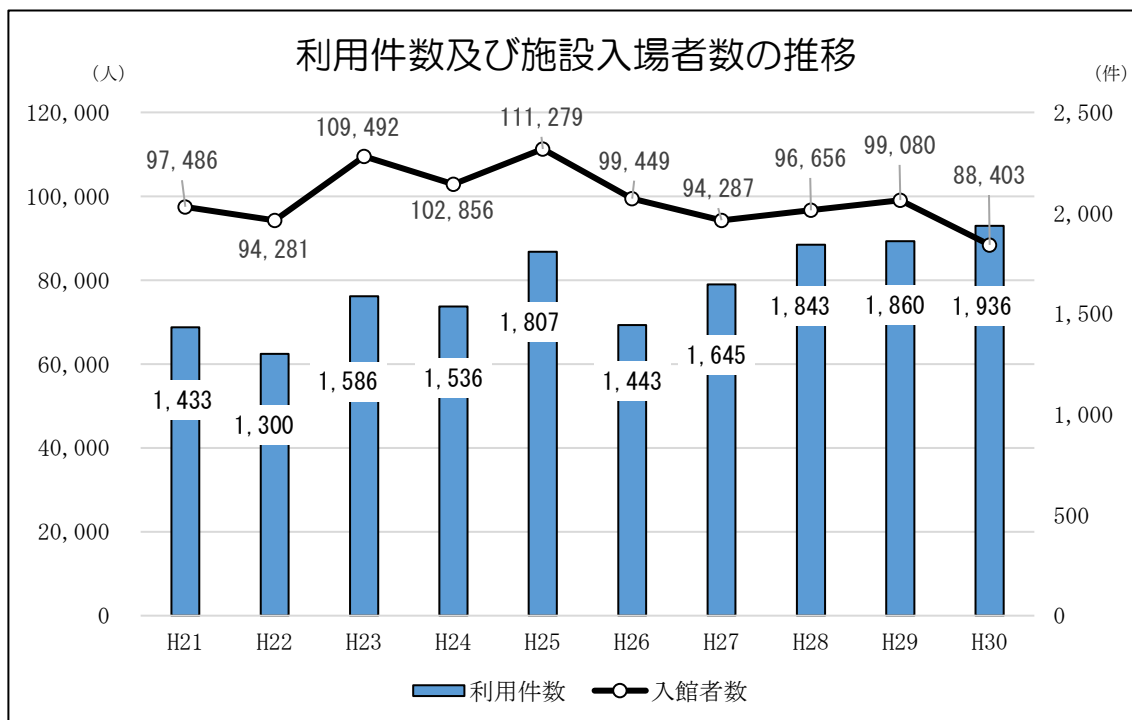


※H26.8 リニューアルオープン

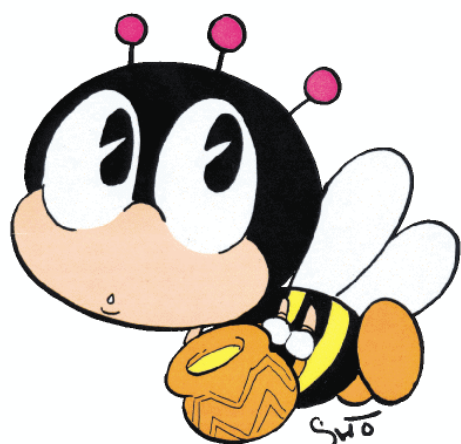
※5 総KPI 施設入場者数 令和5（2023）年度 50,000人

(6) カノラホール（岡谷市文化会館）

近年、利用件数は堅調に増加しているが、貸館業務における開催事業などの影響により入場者数の変動が見られます。



※5 総KPI 施設入場者数 令和5（2023）年度 109,000人



生涯学習のマスコット「マナビィ」

2 各種団体からの意見・要望（抜粋）

計画策定にあたり、社会教育関係団体や文化・芸術に関する学習グループ・団体などから、ご意見・ご要望を頂戴しました。

（1）生涯学習活動における問題点や課題について

- 学習グループ会員数の減少とそれに伴う金銭面での存続維持の難しさ
 - 学習グループ会員の高齢化
 - 学習グループ新規会員確保の難しさ
 - 学習グループのメンバーが集まらない
 - 学習グループ講師の高齢化
- 学習グループの役員の成り手がいない
 - 学習グループへ幅広い年齢層に参加していただきたい
 - 毎週学習ができるように活動したい
 - 講座として開催するほどでもないが、グループ以外の人にも活動の様子を楽しんで見てもらえる機会があると良い
 - 60歳以上の男性が学習している姿がとても少ないように感じる
 - 小中高校生が学校をはなれて個人、小団体で社会や理科を学習する場が少ない
また、指導をしてくれる先生、学芸員が少ない
 - 公民館利用者の9割が女性であるため、男性をいかに巻き込んで活動するかが課題
 - 月1回の活動をしているため、気軽に取り組みやすく、学習グループの会員全員が親しみやすい
 - スマートフォンの普及により語彙力やコミュニケーション能力が低下している

(2) 新しい生涯学習推進計画の策定に向けての方向性

・各学習グループの活性化に繋がるような広報をしていただきたい

・学習グループ存続のための何か手助けをしていただきたい

・学習グループ会員の高齢化をどうにかしたい

・学習グループの人員確保を市主体でしていただきたい

・学習グループの活動費等を一部負担していただきたい

・学習グループの活動として、大会に出場したい

・共催講座のような会員増につながるきっかけ作りをしていただきたい

・学習グループ会員増加のため、若い人や男性の入りやすい講座を開設していただきたい

・若年層が取り組めるような魅力ある公民館活動を増やしていただきたい

・中高年が参加しやすい講座等の開催をしていただきたい

・冬期間の暖房の温まり方が機械によって異なることが気になる

・高齢化が進むため、軽い運動ができる所を増やしていただきたい

・学生のうちから高齢になっても継続して活動できるような取り組みをしていただきたい

・スマートフォンなどが新しいメディアとして定着しつつあり、メディアリテラシーの学習が必要

・ボランティアに対する人材発掘や、5年先、10年先を見据えた人材育成が必要

・超高齢社会へ向け、高齢者に生きがいと喜びの場の提供

・若い人向けの生涯学習推進に取り組んでいただきたい

・産業遺産（現代史へ発展）、遺跡（古代史）を基に生涯学習の充実を図っていただきたい

・自然散策学習ができる場所を整備していただきたい

・今後予想される現役世代の定年の延長や、人口減少により人手不足から公民館活動に参加する人が減少するため、定年後に公民館活動へ参加する仕組みづくりが大切になってくる。

・高齢化に伴い、生涯に渡りいきいきと学習できる環境

・文化祭が秋に集中するので、時期を分散すれば他の地域の文化祭にも見学に行けて良いと思う

・地元の高校生の「総文祭」のようなものも見てみたい

(3) 生涯学習・文化施設（カルチャーセンター・公民館・図書館・シルクファクトおかや・カノラホール・イルフ童画館）についての希望や意見

- ・夏の暑さ対策をしていただきたい
- ・施設の老朽化対策をしていただきたい
- ・施設全体的に清掃が行き届いていないと感じる
- ・気軽に施設を利用できるような雰囲気作りをしていただきたい
- ・高齢者が利用しやすいように、各公民館のバリアフリー化を図っていただきたい

【講座の改善に関すること】

- ・ケーナ、よし笛などの楽器を使った講座を開いていただきたい
- ・高齢者が楽しんで参加できる運動の講座が多数あるとよい
- ・様々なジャンルの講座を開設していただきたい
- ・男性が参加し易い講座を開設していただきたい

【交通面の改善に関すること】

- ・施設への交通手段の改善（シルキーバスのちょうど良い時間を増やしていただきたい）
- ・人口減や高齢化に合わせた移動手段の整備

【カノラホールへの要望に関すること】

- ・催し物がクラシックに偏っていると感ずるため、様々なジャンルの催し物や、有名人の講演会を企画していただきたい
- ・催し物に新しい人を呼んでいただきたい

【図書館への要望に関すること】

- ・本のPC検索、DVD視聴のスペースを設けていただきたい
- ・雑誌を2冊ずつ入れていただきたい
- ・図書館専用の駐車場を増やしていただきたい

【長地公民館への要望に関すること】

- ・長地公民館の駐車スペース近くの道路は夜間暗くなると見えづらいため、照明が欲しい
- ・長地公民館に扇風機をもう1台増やしていただきたい

【湊公民館への要望に関すること】

- ・湊公民館に冷房が欲しい

【川岸公民館への要望に関すること】

- ・川岸公民館講堂の全体が温まる暖房を入れていただきたい

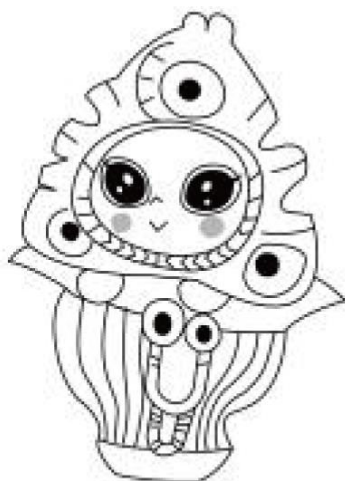
【その他】

- ・普段活動をしている施設の他の文化施設でも活動の発表の機会があると良い

(4) その他

【講座の改善に関すること】

- ・年代別の運動教室があったら良い
- ・スマホやパソコンのアプリを楽しめる講座を開いていただきたい
- ・他の学習グループと交流する機会が欲しい



3 生涯学習推進に関連する他の計画（抜粋）

岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン

（令和元（2019）～令和10（2028）年度）

重点項目1 未来を切り拓く確かな学力の定着

主な関連施策 家庭学習への支援
学校図書館の活性化
国際理解教育の推進
情報教育の充実

重点項目2 地域に根ざしたふるさと学習の推進

主な関連施策 郷土を愛する心の醸成
キャリア教育の推進
岡谷版コミュニティスクールの推進
地域との連携による家庭支援の充実

重点項目3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

主な関連施策 人権教育の推進・いじめ防止対策
健康教育・食育の推進

はつらつ岡谷スポーツプラン（令和2（2020）～令和6（2024）年度）

取り組み1 市民ひとり1スポーツの実現

主な関連施策 家族のスポーツ機会の充実
高齢者のスポーツ機会の充実
気軽に取り組めるスポーツの普及促進
スポーツ観戦のきっかけづくり

岡谷市子ども・若者育成支援計画（令和2（2020）～令和6（2024）年度）

基本目標Ⅰ 子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた切れ目ない支援

主な関連施策 学童から思春期における支援
思春期から青年期における支援
すべてのライフステージにおける支援

基本目標Ⅱ 地域社会全体で子ども・若者、子育てを支える環境づくり

主な関連施策 地域全体による支援

岡谷市自殺対策計画（令和元（2019）～令和5（2023）年度）

重点施策2 高齢者への対策

主な関連施策 生きがいづくりと社会参加の推進

第3次岡谷市健康増進計画（岡谷市食育推進計画）

（平成30（2018）～令和5（2023）年度）

重点分野 休養・こころの健康

主な関連施策 生涯にわたるこころの健康の基礎を作るための教育の充実
育児不安を抱える保護者への支援

重点分野 豊かな心を育む食育

主な関連施策 食育情報の普及啓発

第3次岡谷市地域福祉計画（平成27（2015）～令和2（2020）年度）

基本目標2 とともに生きる地域づくり

主な関連施策 人材育成の支援
ボランティア活動等の支援

基本目標3 福祉の文化の創造

主な関連施策 生涯学習の推進

第8次岡谷市高齢者福祉計画（平成30（2018）～令和2（2020）年度）

主要施策 生きがいづくりと社会参加の推進

主な関連施策 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）
いちい学級（高齢者学級）

第4次岡谷市障がい者福祉計画（平成27（2015）～令和2（2020）年度）

基本目標2 保育・教育の充実

主な関連施策 生涯学習活動の推進
障がいに応じた学習機会の充実
芸術文化活動・スポーツ等への参加促進

第6次岡谷市男女共同参画計画（令和2（2020）～令和6（2024）年度）

基本目標1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

主な関連施策 意識改革のための広報・啓発活動の推進

男女共同参画の教育・学習の推進

国際的視点に立った男女共同参画の意識づくり

基本目標3 安全で安心して暮らせる環境づくり

主な関連施策 あらゆる暴力の予防及び根絶

岡谷市工業活性化計画（令和元（2019）～令和5（2023）年度）

基本戦略1 ものづくり基盤整備戦略

主な関連施策 子どもの頃からものづくり意識啓発の推進

基本戦略4 人材確保・育成戦略

主な関連施策 ものづくり人材の技術・技能の向上と技術承継支援

岡谷市商業活性化計画（令和元（2019）～令和5（2023）年度）

基本戦略1 商店街魅力向上戦略

主な関連施策 商店街のあり方（消費者の商店街（買物）に求める価値の
多様化への対応

第4次岡谷市環境基本計画（令和2（2020）～令和6（2024）年度）

基本目標6 みんなが環境保全に参加するまち《参加と協働》

主な関連施策 環境教育・学習の推進

岡谷市ICT利活用推進ビジョン（令和元（2019）～令和10（2028）年度）

基本方針2 ICTで情報の見える化・地域情報化

主な関連施策 行政情報発信の充実

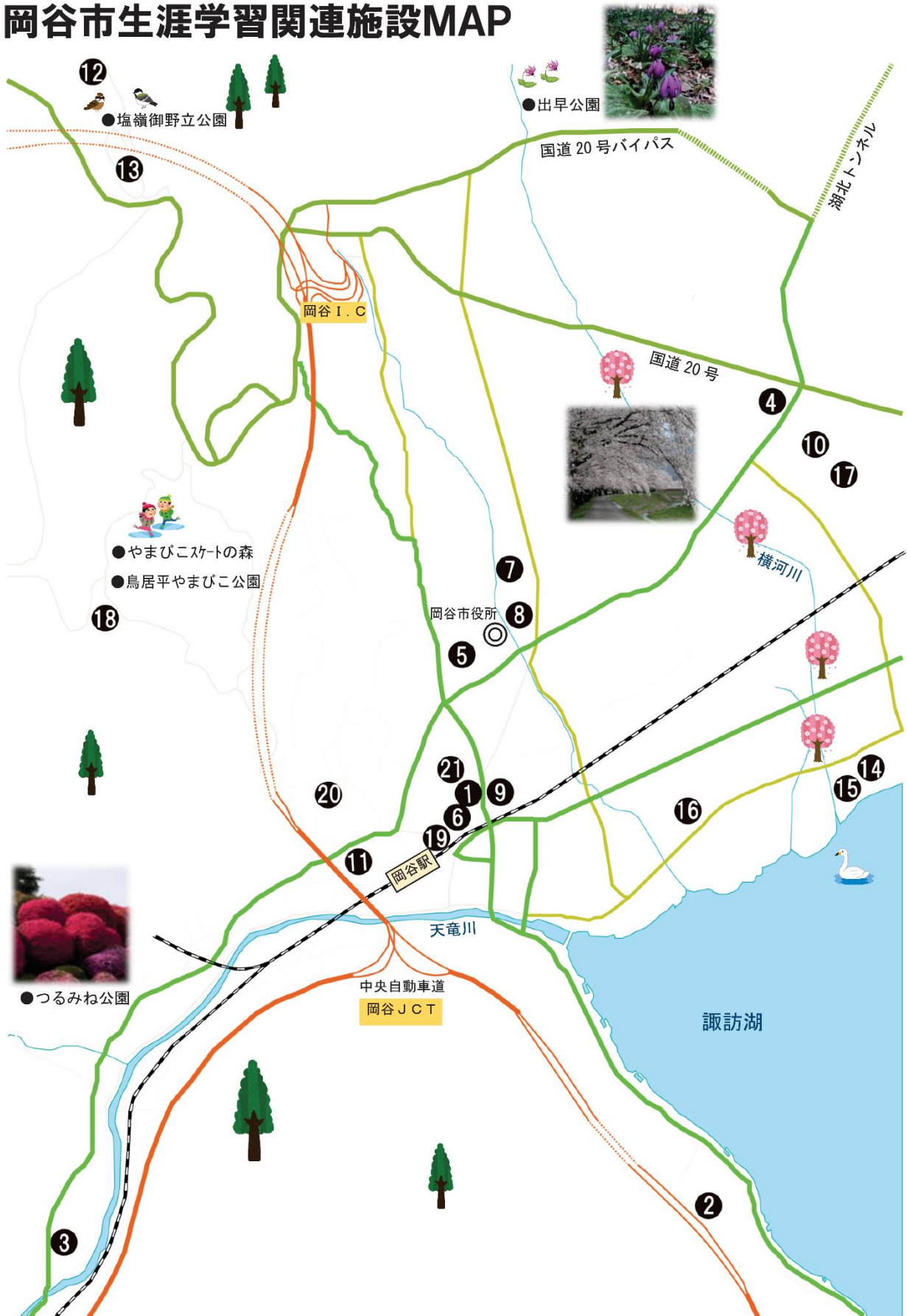
市民参加型のICT活用

岡谷市地域防災計画（令和元年修正）

風水害対策編・震災対策編 第1章災害予防計画

主な関連施策 防災知識の普及

岡谷市生涯学習関連施設MAP



	名 称	所在地	電話	掲載 ページ
①	カルチャーセンター（生涯学習館）	岡谷市中央町 1-11-1	24-8401	42
	こどものくに（子育て支援館）	イルフプラザ内	24-8403	
②	湊公民館	岡谷市湊 3-8-6	22-2300	43
③	川岸公民館	岡谷市川岸中 3-1-29	23-2200	
④	長地公民館	岡谷市長地柴宮 2-15-26	27-8080	
⑤	岡谷図書館	岡谷市本町 4-1-39	22-2031	
⑥	岡谷美術考古館	岡谷市中央町 1-9-8	22-5854	44
⑦	シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）	岡谷市郷田 1-4-8	23-3489	
⑧	カノラホール（岡谷市文化会館）	岡谷市幸町 8-1	24-1300	
⑨	イルフ童画館（日本童画美術館）	岡谷市中央町 2-2-1	24-3319	45
⑩	旧渡辺家住宅	岡谷市長地柴宮 3-8-40	26-7545 <small>（郷土学習館）</small>	
⑪	旧林家住宅	岡谷市御倉町 2-20	22-2330	
⑫	塩嶺野外活動センター	岡谷市 10016-1	23-8028	
⑬	塩嶺閣	岡谷市 1723-79	22-3724	46
⑭	あいとぴあ（長野県男女共同参画センター）	岡谷市長地権現町 4-11-51	22-5781	
⑮	諏訪湖ハイツ（おかや総合福祉センター）	岡谷市長地権現町 4-11-50	24-2290	
	公益社団法人岡谷下諏訪広域シルバー人材センター	諏訪湖ハイツ（おかや 総合福祉センター）内	23-0760	
⑯	わーくピア岡谷 （岡谷市勤労青少年ホーム・岡谷市勤労会館）	岡谷市田中町 3-7-28	23-2201	47
⑰	郷土学習館	岡谷市長地柴宮 3-9-3	26-7545	
⑱	eco ポップ（諏訪湖周クリーンセンター）	岡谷市字内山 4769-14	78-1090	
⑲	テクノプラザおかや	岡谷市本町 1-1-1	21-7000	
⑳	岡谷太鼓道場	岡谷市成田町 1-8-25	22-6663	47
㉑	旧山一林組製糸事務所	岡谷市中央町 1-13-17	22-2245	

○生涯学習施設一覧

① カルチャーセンター（生涯学習館）

乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設。各種講座の開催や、学習の場として部屋を貸し出している。

【開館・利用時間】9：00～21：30

【休館日】毎月第2火曜日・12月29日～1月3日

【電話】0266-24-8401



こどものくに（子育て支援館）

0歳児～3歳児の子どもとその親・家族が利用するための施設。育児相談等を実施している。

【開館・利用時間】9：30～17：30

【休館日】毎月第2火曜日・12月29日～1月3日

【電話】0266-24-8403



② 湊公民館

③ 川岸公民館

④ 長地公民館

乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための各地域密着型の施設。各種講座の開催や、学習の場として部屋を貸し出している。

【開館・利用時間】8：30～21：30

（土・日曜日は17：00まで）

【休館日】祝日・12月29～1月3日

【電話】岡谷市湊公民館：0266-22-2300

岡谷市川岸公民館：0266-23-2200

岡谷市長地公民館：0266-27-8080



岡谷市湊公民館



岡谷市川岸公民館



岡谷市長地公民館

⑤ 岡谷図書館

諏訪地域図書館情報ネットワークシステムを活用する等、他機関との連携を密にしながら、市民の生涯学習の拠点としての図書館サービスの向上に努めている。

【開館・利用時間】 10：00～19：00

【休館日】 月曜日・休日の翌日・12月28日～1月3日

【電話】 0266-22-2031



⑥ 岡谷美術考古館

絵画、彫刻、工芸、書など郷土の優れた美術作品と、市内遺跡から発掘された縄文時代から平安時代までの豊富な土器・石器類を展示している。

【開館・利用時間】 10：00～19：00

【休館日】 水曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-22-5854



⑦ シルクファクトおかや（岡谷蚕糸博物館）

シルク岡谷の蚕糸機械器具や関係資料を展示している。また、館内に株式会社宮坂製糸所を併設している。

【開館・利用時間】 9：00～17：00

【休館日】 水曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-23-3489



⑧ カノラホール（岡谷市文化会館）

ヨーロッパのオペラハウスに見られるU字型の栈敷席が特徴の大ホール等の貸し出しや、催しを開催している。

【開館・利用時間】 9：00～22：00

【休館日】 月曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-24-1300



⑨ イルフ童画館（日本童画美術館）

郷土出身の武井武雄作品を常時展示しているほか、日本と世界の童画を紹介している。

【開館・利用時間】10：00～19：00

【休館日】水曜日・12月29日～1月3日

【電話】0266-24-3319



⑩ 旧渡辺家住宅

代々高島藩主に仕えた散居武士の住宅。この家から三人の大臣が生まれており、関係資料も展示している。県宝指定。

【開館・利用時間】10：00～16：00

【休館日】月・木・金曜日・11月4日～3月19日

【電話】0266-26-7545（郷土学習館）



⑪ 旧林家住宅

一山カ林製糸所の初代林国蔵の住宅。主屋と離れの座敷、茶室、洋館に分かれ、主屋の南側には繭倉庫の形式をとどめる土蔵が並ぶ。国指定重要文化財。

【開館・利用時間】9：00～16：30

（12月～2月末は15：00まで）

【休館日】水曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日

【電話】0266-22-2330



⑫ 塩嶺野外活動センター

八ヶ岳中信高原国定公園内の岡谷市北部、塩嶺峠の頂上に位置し、周囲を素晴らしい自然に囲まれた「青少年の自然体験活動の拠点」として運営する施設。

【休館日】月曜日・11月1日～4月30日

【電話】0266-23-8028



⑬ 塩嶺閣

八ヶ岳中信高原国定公園と塩嶺王城県立公園内にある日帰り保養施設。
 (塩嶺小鳥 バス5～6月実施)

【開館・利用時間】9:00～17:00

【休館日】火曜日・12月～3月(冬季休館)

【電話】0266-22-3724



⑭ あいとぴあ(長野県男女共同参画センター)

男女共同参画社会づくりのための研修・情報提供・相談等を行う総合的な拠点施設。

【開館・利用時間】9:00～21:00

【休館日】月曜日・祝日の翌日・12月29日～1月3日

【電話】0266-22-5781



⑮ 諏訪湖ハイツ(おかや総合福祉センター)

福祉と生涯学習の機能を合わせもつ複合施設。温泉施設も併設。

【開館・利用時間】9:00～21:30

【休館日】毎月第3水曜日・12月29日～1月3日

【電話】0266-24-2290



公益社団法人岡谷下諏訪広域シルバー人材センター

「生きがいを得るための就業」を目的とした地域社会の活性化に貢献する公益法人。個々の能力と適性にあった臨時的かつ短期的な業務又は軽易な業務への就業の場を提供する。

【業務時間】8:30～17:15

【電話】0266-23-0760

⑯ わーくピア岡谷（岡谷市勤労青少年ホーム・岡谷市勤労会館）

働く勤労青年及び市民の福祉施設

【開館・利用時間】 9：00～21：30（月～金）

9：00～17：00（土・日）

【休館日】 祝日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-23-2201



⑰ 郷土学習館

地域の生涯学習施設として、郷土のすぐれた先人の関係資料を展示し、幼児から高齢者までの生涯学習を推進する。

【開館・利用時間】 9：00～17：00

【休館日】 月・木・金曜日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-26-7545



⑱ eco ポップ（諏訪湖周クリーンセンター）

一般廃棄物の可燃ごみ、破碎・選別後残渣（大型可燃ごみ）の処理施設。施設の見学や体験により、ごみ処理や資源、環境の大切さなどを学ぶことができる。

【ごみ受入時間】 8：30～16：00（月～金）

8：30～12：00（土）

※日曜日、12月31日～1月3日は受入不可。

【電話】 0266- 78-1090



⑲ テクノプラザおかや

産業振興の拠点施設。展示会や人材育成に関わる技術講習、社内研修等を開催するため、企業等に会場の貸し出し等を行っている。

【開館・利用時間】 8：30～21：30（月～金）

8：30～17：30（土・日）

【休館日】 祝日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-21-7000



⑳ 岡谷太鼓道場

岡谷の観光資源、芸能文化である和太鼓の伝承・発展のため、演奏技術の習得や学習指導の推進を図り、太鼓のまちづくりに寄与することを目的とした施設。ダンスや舞踊等での利用も可能。

【開館・利用時間】 17：30～21：30（月・火）
13：00～21：30（水・金）
9：00～21：30（土・日・祝日）

【休館日】 木曜日・12月29日～1月3日

【電話】 0266-22-6663

**㉑ 旧山一林組製糸事務所**

明治12年に創業した山一林組の事務所。1階には岡谷絹工房があり、岡谷絹の機織りの見学・体験ができ、各種絹製品も販売している。国登録有形文化財。

【開館・利用時間】 9：00～16：00
【休館日】 毎週 月・水・木・金曜日
【電話】 0266-22-2245



○岡谷市生涯学習推進計画策定委員会設置要綱

平成31年4月19日

告示・教育委員会告示第2号

岡谷市生涯学習推進本部設置要綱（平成2年岡谷市・岡谷市教育委員会告示第1号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 岡谷市における生涯学習施策の総合的な推進に関し、生涯学習推進計画を策定するため、岡谷市生涯学習推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 生涯学習の計画策定に関すること。
- (2) その他教育委員会が特に必要と認める事項

（組織）

第3条 委員会に、委員長、副委員長及び委員を置く。

- 2 委員長は、教育部長の職にある者をもって充てる。
- 3 副委員長は、生涯学習課長の職にある者をもって充てる。
- 4 委員は、職員のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

（職務）

第4条 委員長は、会務を総理する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（委員会等）

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員長は、第2条に規定する所掌事項を達成するため、必要があると認めるときは、委員会に幹事会を置くことができる。
- 3 幹事会の幹事は、職員のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

（懇話会）

第6条 委員長は、市の生涯学習に関する施策に対して、広く市民の意見を聴取するため必要に応じて生涯学習推進懇話会（以下「懇話会」という。）を開催する。

- 2 懇話会の開催について必要な事項は委員長が別に定める。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課が行う。

（補則）

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営等について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、平成31年4月30日から施行する。

プラン策定までの経過

令和元年度

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 6月 6日 (木) | 第1回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 7月 4日 (木) | 第1回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会
及び幹事会合同会議 |
| 7月18日 (木) | 第2回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 7月～9月 | 各種団体の意見聴取 (64団体) |
| 8月27日 (火) | 第3回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 9月13日 (金) | 生涯学習課内検討会議 |
| 9月～10月 | 庁内担当課による計画案の検討 |
| 10月 3日 (木) | 第4回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 10月17日 (木) | 第2回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会 |
| 11月 8日 (金) | 岡谷市定例教育委員会 中間報告 |
| 11月19日 (火) | 第5回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 12月13日 (金) | 第3回岡谷市生涯学習推進計画策定委員会 |
| 12月20日 (金) | 第6回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 12月25日 (水)～1月14日 (火) | パブリックコメント募集 |
| 1月21日 (火) | 部長会議 |
| 2月 6日 (木) | 岡谷市定例教育委員会にて決定 |
| 2月13日 (木) | 第7回岡谷市社会教育委員の会議 |
| 2月28日 (金) | 行政管理委員会報告 |
| 3月10日 (火) | 岡谷市議会総務委員会報告 |

岡谷市民憲章

緑と湖にまつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和46年7月1日制定)

人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。

今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成8年3月21日宣言)

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。

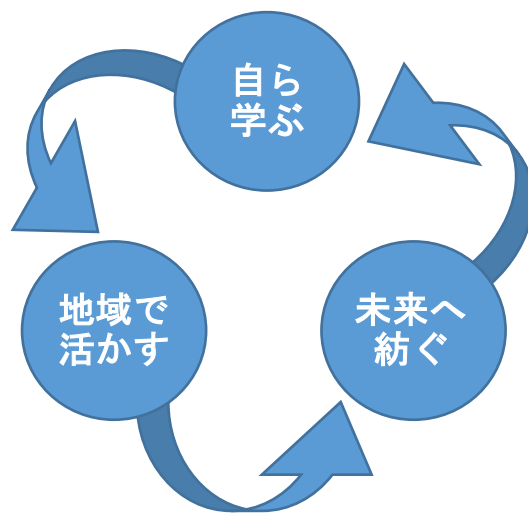
命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。

自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。

力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成14年4月1日制定)



岡谷市学びの紡ぎ応援プラン
(第6次岡谷市生涯学習推進計画)

■発行年月 2020年3月

■発行 岡谷市教育委員会

■編集 岡谷市教育委員会生涯学習課